

議 事 録		作 成 日	令和6年11月26日(火)
		作 成 者	建設部 上下水道課
会議名	第2回 宮津市水道使用料金等審議会		
開催日時	令和6年11月26日(火) 14:00~15:15	開催場所	宮津市役所第5会議室
出席委員 (敬称略)	味見 豊 : 宮津市自治連合協議会 副会長 黒岡 芳子 : 宮津市地域女性の会 会長(委任) 井崎 智満 : 宮津地区労働者福祉協議会 会長 山口 孝幸 : 宮津商工会議所 専務理事 森口 正志 : 宮津天橋立観光旅館協同組合 理事(委任) 三好 ゆう : 福知山公立大学 准教授(委任) 山崎 慎一 : 舞鶴工業高等専門学校 教授 【会長】		

内 容	
1	挨拶
2	水道事業の今後の収支見通しについて <ul style="list-style-type: none"> 事務局より資料 1-1「今後の収支見通し」及び資料 1-2「宮津市水道事業財政シミュレーション」に基づき説明 <質疑> <ul style="list-style-type: none"> 資料 1-1 の令和 2 年度のシミュレーションにおいて、令和 7 年度に 28%の料金改定としているが、当時の審議会でもこの改定率は示されていたのか。また、現在の料金に 28%の改定という考え方でいいのか。 <ul style="list-style-type: none"> →お見込みのとおり。 資料 1-1 の令和 2 年度のシミュレーションにおいて、令和 7 年度には 28%改定予定だったとのことだが、現在のシミュレーションと損益額に大きな差がある。その要因は。 <ul style="list-style-type: none"> →令和 2 年度は行政人口の推計を基に有収水量を算出していたが、現在のシミュレーションでは、過去の実績値で試算している。人口は減っているが観光客や関係人口の使用水量が一定あったのではないかと考える。また、収入だけでなく維持管理費を抑えたことにより黒字額が増加している。 現在のシミュレーションは前回よりも有収水量が減少しない。考え方は。 <ul style="list-style-type: none"> →人口減少は大きなマイナス要因だが、宮津市は観光地でもあるので観光客が使用している量もあることから過去の有収水量を基に試算したもの。 資料 1-2 の企業債償還金のピークが令和 6 年度となっているが、今後の整備や改修で償還金のピークは令和 7 年度以降になるのではないのか。 <ul style="list-style-type: none"> →現在整備している IOT 事業は国庫補助金がつくので企業債の借入額が減ることから、償還金が減っている。 IOT 事業には今後も国庫補助金はつくのか。 <ul style="list-style-type: none"> →つくものと考えている。

内 容

- ・資料 1-2 の令和 10 年度の維持管理費の増加要因は。
→水道事業ビジョンの見直しに係る費用等を計上している。
- ・資料 1-2 の令和 13 年度以降の他会計繰入金（基準内）の増加要因は。
→給水原価等が基準を超えると一般会計からの繰入金が増える国の制度上のもの。
- ・観光客が増えてきている。また宮津市観光戦略において、今後も観光客が増えるシミュレーションとなっているが、有収水量に加味しているのか。
→実績値で試算しているので、観光客の増加は加味していない。

3 今後の収支見通しに基づく使用料金のあり方について

- ・事務局より資料 2「今後の収支見通し（ケース別による比較）」及び資料 3「シミュレーションに基づく料金体系」に基づき説明

<質疑>

- ・資料 3 の料金は 1 か月あたりの料金か。
→お見込みのとおり。
- ・料金を改定する場合、来年の 3 月議会で提案し、10 月に改定するのか。
→お見込みのとおり。前回の改定のタイミングと同様、周知期間を設ける。また、観光客の多い夏場を超えてからと考えている。
- ・当時 28%の改定を検討していたうえ、今後も老朽化や施設の改修もある中、8%~10%の改定率で大丈夫なのか。
→基本的な考え方は、単年度の損益額を赤字にしないことが前提と考える。最終的には市長の責任において何%にするか決定したうえで議会に諮ることしたい。
- ・色々なものが値上げされている中、料金改定することは厳しいとは思いますが、健全なあり方を後世に繋げていかなければならず、値上げはやむを得ないと考える。宮津のおいしい水を今後も提供するためには、今回の改定率は妥当なのか、健全化していけるのか。
→京都府下で 26 市町村ある中で、宮津市の水道料金（13mm 管・1 か月あたり 20 m³使用した場合）は安い順から数えると 21 番目となる。9%UP で 22 番、10%UP で 23 番目となる。近隣市町とのバランスも考えていく必要がある。
- ・宮津市は観光業が多いと思うが、料金は一般用の料金なのか。
→お見込みのとおり。

4 答申（案）について

- ・事務局より「水道使用料金等のあり方について（答申案）」を説明

<質疑>

- ・1「水道事業の経営等に関する情報について、積極的な開示に努めること。」とあるが、具体的な取り組み内容は。
→広報みやづで周知していく。なお、審議会の開催等についても今年の 11 月号で発信している。今

内 容

後は、答申結果を12月定例会で議員に報告、来年の広報みやづ2月号あたりでも答申いただいたことを情報発信する。3月定例会において条例改正についてお諮りし、結果について広報みやづやホームページで情報発信していきたい。

- ・老朽化の状況等についてもアピールしていけばどうか。
→工夫しながら周知していきたい。
- ・2(3)「必要性や目的並びに改定規模など様々な情報について」とあるが、「改定規模」という言葉に違和感がある。「改定内容」としては。
→「改定内容」に修正する。

5 その他

- ・審議会は今回をもって終了とする。
- ・今後は、答申書を修正し、委員の皆様にご確認していただく。
- ・答申書確認後、山崎会長から市長に答申書をお渡しいただく予定。